

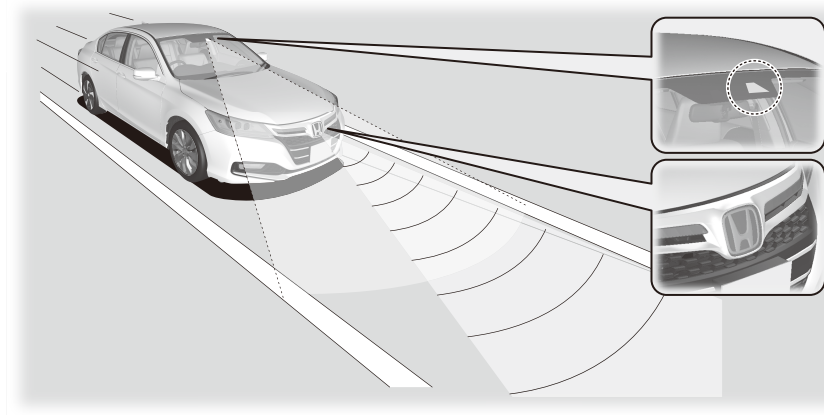
ACC/LKAS とは

ACC は前の車との車間距離を一定に保ちます。

ACC は、エンブレムの奥に設置してあるレーダーセンサーが先行車との車間距離を測定して、適切な加減速を行い、設定車間距離を保持しながら、運転者がアクセルやブレーキ操作をしなくても、定速で走行するシステムです。

LKAS は車線維持走行をアシストします。

LKAS は、フロントウィンドウ上部に設置してあるカメラによって、左右の白線（黄線）をとらえ、電動パワーステアリングの動きをアシストし、車線維持走行を補助するためのシステムです。



ACC/LKAS は、急なカーブや加速・減速の繰り返しが少ない、高速道路や自動車専用道路などを運転するときを使用してください。

システムを正しく作動させるために、必ず次のことをお守りください。

- エンブレムは常にきれいにしておく
- エンブレムのお手入れにベンジン、シンナー類、クレンザーなどの磨き粉類を使わない
- エンブレムにステッカーを貼らない
- エンブレムを交換しない
- カメラ付近のガラスは常にきれいにしておく
- フロントガラスのお手入れをするときは、ガラスクリーナーなどがカメラのレンズに付着しないようにする
- カメラのレンズには触れない
- カメラ付近のガラスにステッカーを貼らない

次の場合は、Honda 販売店にご相談ください。

- レーダーセンサーやカメラに衝撃が加わったとき
- フロントグリル周辺の修理を行うとき
- カメラレンズの手入れ

サスペンションの改造は行わないでください。システムが正常に作動しないおそれがあります。

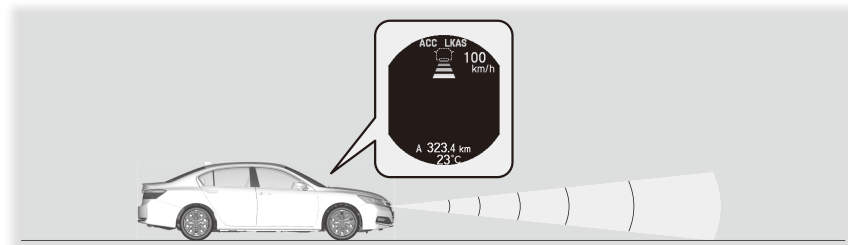
ACC : Adaptive Cruise Control =アダプティブクルーズコントロール

LKAS : Lane Keep Assist System =レーンキープアシストシステム

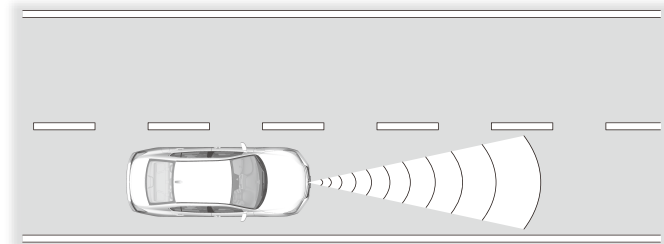
ACC のはたらき

ACC システムでは、レーダーセンサーが検知した先行車の動きに応じて、車速および先行車との車間距離を自動的に制御します。

先行車がないとき

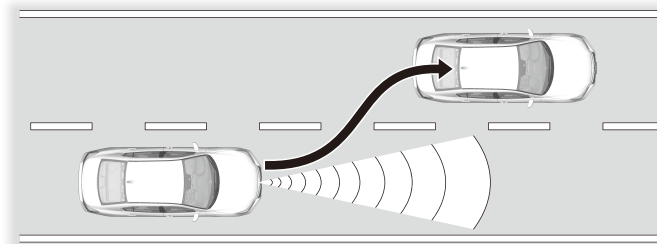


■先行車がないときは→定速走行



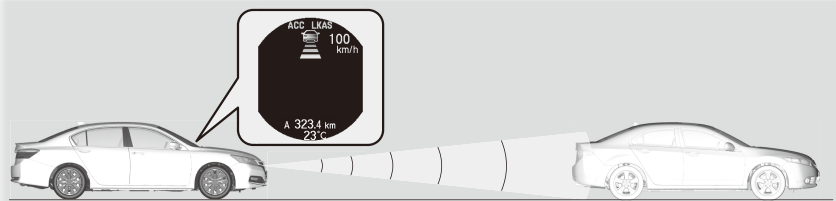
先行車がない場合、アクセルを踏まなくても設定した車速で定速走行します。

■先行車がいなくなったときは→加速走行

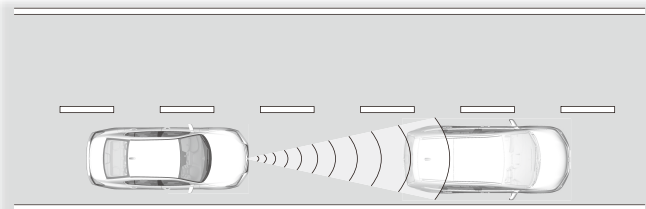


先行車が車線変更などでいなくなると、設定車速までゆるやかに加速したあと定速走行します。

先行車がいるとき



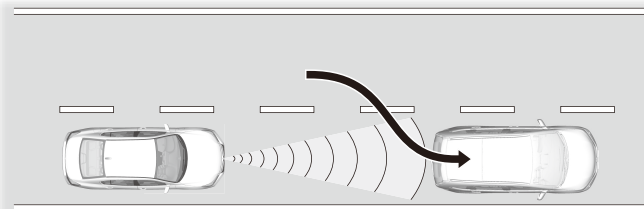
■先行車がいるときは→追従走行



先行車の車速変化に合わせ、セットした車速の範囲内で車間距離を保ちながら追従走行します。

- ACCは、低速（20km/h）で走行している車や停車している車に対しては、先行車として検知しません。また、接近警報も作動しません。ブレーキペダルを踏むなどして適切な車間距離を保ってください。高速道路の料金所や渋滞の最後尾など、前方に停車中の車があるときは、適切なブレーキ操作をしてください。
- スクーターなどの小型二輪車や車線の端ぎりぎりを走行している二輪車に対しては、車間制御ができないことがあります。
- 道路状況（カーブなど）や自車の状況（ハンドル操作や車線内の位置）によっては、一時的にとりよりの車線の車や周囲の物を測定することがあります。また、先行車以外を測定して、車間距離制御または接近警報が作動する場合があります。

■自車より遅い先行車があらわれたときは→減速走行



設定より遅い速度で走行している先行車があらわれたとき、減速制御を行います。また、先行車の急ブレーキなどで減速しきれないときは、警告音と表示で注意をうながします。

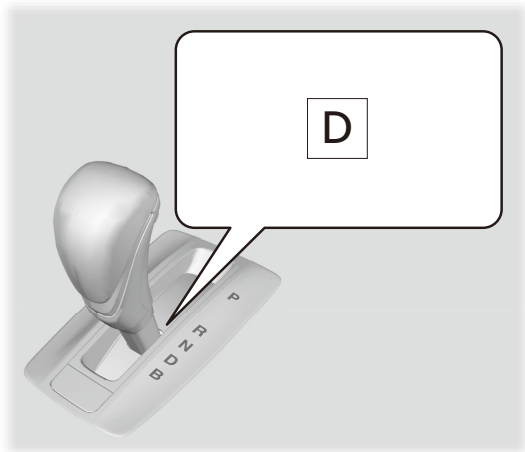
- 先行車とほぼ同じ速度で走行しているときや、先行車の速度が自車よりも速く次第に離れていくときは、車間距離が短くても接近警報が作動しないことがあります。
- 追従走行中に割り込まれたとき、割り込み車の速度が自車よりも速く次第に離れていく場合には、車間距離が短くても割り込み車に追従して車間距離をあげながらゆるやかに加速することがあります。
- ACCによるブレーキが作動しているときは、制動灯が点灯します。

ACC を作動させるには

ACC システムは、車速が約 40 ~ 100km/h で走行中に作動させることができます。

1 シフトレバーを確認する

ACC システムは、セレクトレバーが **D** のときに使用することができます。

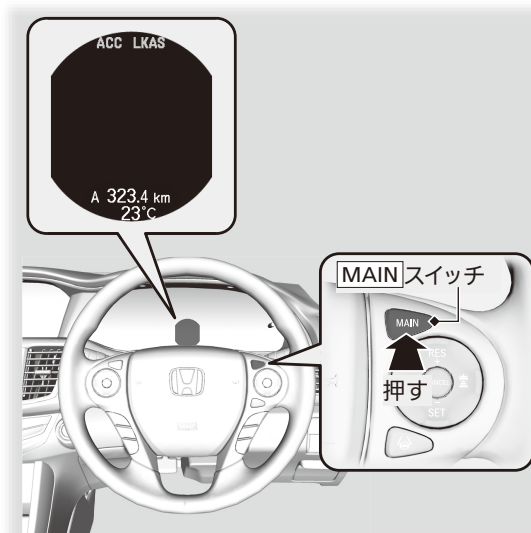


ブレーキペダルを踏んでいるときやパーキングブレーキがかかっているときは、ACC システムは作動しません。

悪天候などで、レーダーセンサーが先行車との車間距離を測定できないときは、システムが作動しないことがあります。

2 MAINスイッチを押す

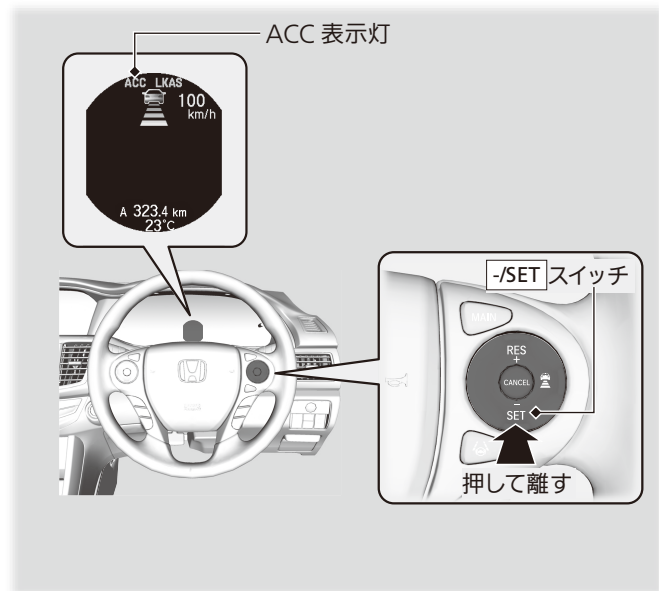
ACC システムが操作可能になります。
同時にマルチインフォメーションディスプレイ内に ACC 表示灯 (グリーン) が点灯します。



車速をセット/調整するには

車速をセットする

アクセルペダル、ブレーキペダルの操作で希望の車速になったら、手元の **[-SET]** スイッチを押して、離す

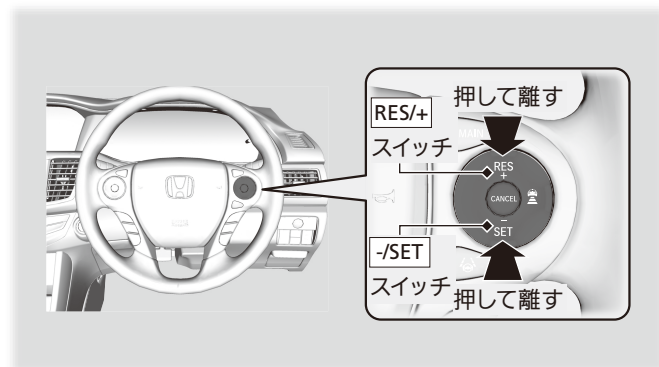


車速が 35km/h 未満になると、ACC は解除されます。車速を上げても自動復帰しません。

車速を手元で調整する

手元の **[RES/+]** スイッチを押して、離す

- 1回押すごとに 1km/h ずつ設定車速が上がります。
- 押し続けると 10km/h ずつ設定車速が上がります。



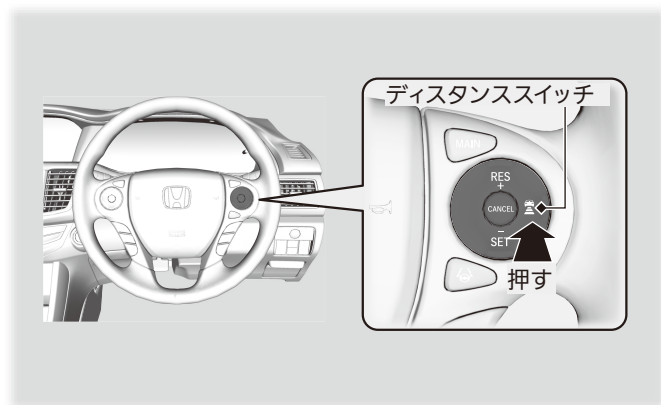
手元の **[-SET]** スイッチを押して、離す

- 1回押すごとに 1km/h ずつ設定車速下がります。
- 押し続けると 10km/h ずつ設定車速下がります。

車間距離を設定するには

1 ディスタンススイッチを押す

先行車との車間距離設定は、4段階に切り換えることができます。ディスタンススイッチを押すごとに、最長→長→中→短と切り換わります。



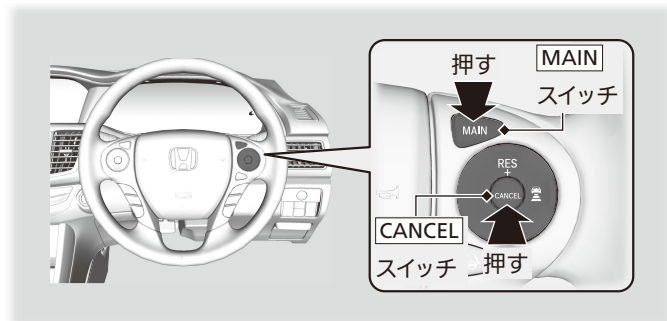
車間距離の目安は以下の通りです。

車間距離設定	車速 80km/h のとき	車速 100km/h のとき
最長 ↓ 長 ↓ 中 ↓ 短	約 66m	約 83m
	約 48m	約 59m
	約 34m	約 40m
	約 26m	約 29m

車速が低くなるほど、車間距離は短くなります。

ACC を解除するには

解除するには



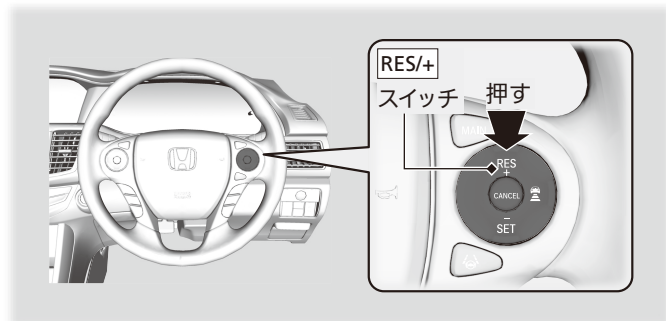
以下のいずれかの操作をすると、ACC が解除されます。

- **CANCEL** スイッチを押す
- ブレーキペダルを踏む
- **MAIN** スイッチを押す

ACC を使用しないときは

安全のため **MAIN** スイッチを OFF にしてください。
 パワーモードをアクセサリモードまたは OFF モードにすると、**MAIN** スイッチは自動的に OFF になります。

解除前の設定車速を復帰させるには



ACC を解除したあとも、40km/h 以上の車速で走行中に **RES/+** スイッチを押すと解除前の設定車速の ACC 走行に戻すことができます。

ただし、以下の場合には復帰できません。

- 車速が 40km/h 未満のとき
- **MAIN** スイッチを押して ACC を OFF にしたとき

一時的に加速するには

アクセルペダルを踏み込むと、ACC が一時的に解除され車速が上がります。
 アクセルペダルを離すと、ACC が復帰しセットした車速に戻ります。

一時的に減速するには

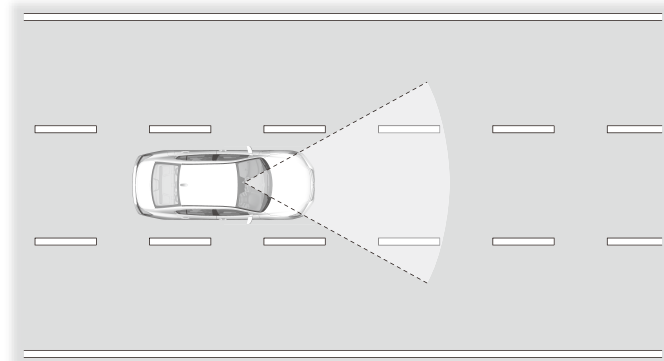
ブレーキペダルを踏むと、ACC が解除され車速が下がります。ACC を復帰させるには、**RES/+** スイッチを押します。

LKAS のはたらき

LKAS システムでは、カメラが検知した白線（黄線）の情報により制御されます。

■車線逸脱警告機能

車が警報エリアに入ると車線逸脱の警報をアラームとディスプレイ表示で行います。



■ワイパー作動時の LKAS 自動解除機能

ワイパースイッチを LO、HI または MIST で連続作動しているときは、LKAS は自動解除します。

ワイパーを OFF にすると、LKAS は復帰します。

■車速低下時の LKAS 自動解除機能

車速が 60km/h 以下になると、LKAS は自動解除します。

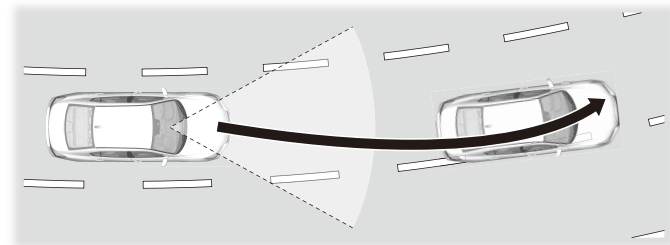
車速が 65km/h 以上になると、LKAS は復帰します。

■ブレーキ操作時の LKAS 自動解除機能

減速などでブレーキペダルを踏むと LKAS が解除され、待機状態になります。ブレーキペダルから足を離し、システムが左右の白線（黄線）を検知すると LKAS が自動で復帰します。

■車線維持支援機能

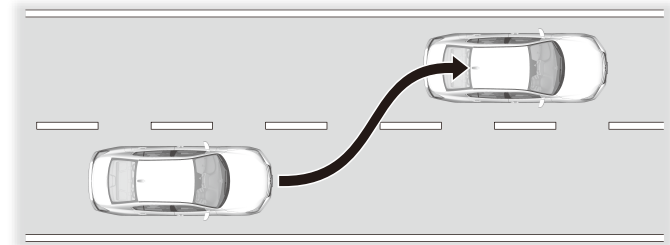
車が車線中央を走行するようにアシストし、白線（黄線）に近づくと電動パワーステアリングの操舵力が強くなります。



■車線変更時の一時解除

車線変更する場合は、方向指示器（ウィンカー）を操作すると LKAS が一時解除状態になります。

その後、車線の中央を走行しカメラが白線（黄線）を検知すると、LKAS が復帰します。



ウィンカーを出さずに車線変更すると、LKAS が解除されず車線逸脱警報が作動します。

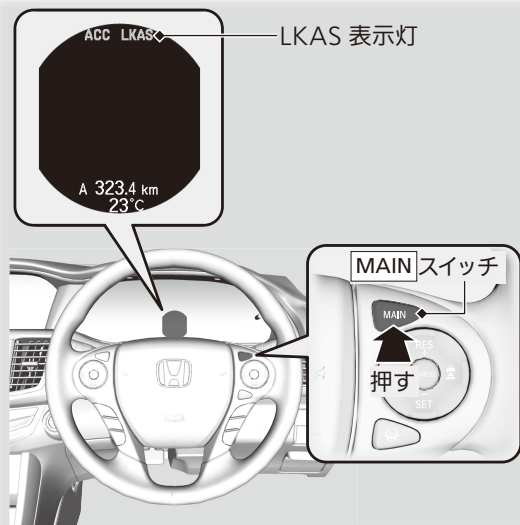
LKAS を作動させるには

LKAS システムは、以下の条件を満たしているときに作動させることができます。

- 車速が約 65 ~ 100km/h で走行しているとき
- 左右に白線（黄線）が引かれている車線の中央付近を走行しているとき
- 直線または半径 230m 以上のゆるやかなカーブの道路を走行しているとき
- ワイパーを連続で作動させていないとき

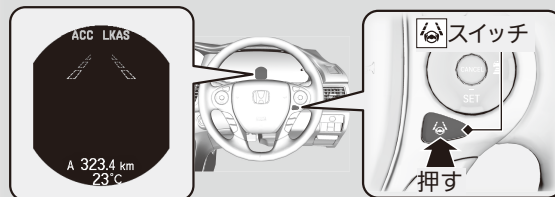
1 MAINスイッチを押す

LKAS システムが ON になり、マルチインフォメーションディスプレイ内に LKAS 表示灯（グリーン）が点灯します。



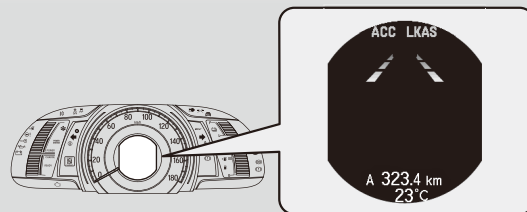
2 スイッチを押す

LKAS システムが待機状態になります。マルチインフォメーションディスプレイに車線表示（点線）が点灯します。



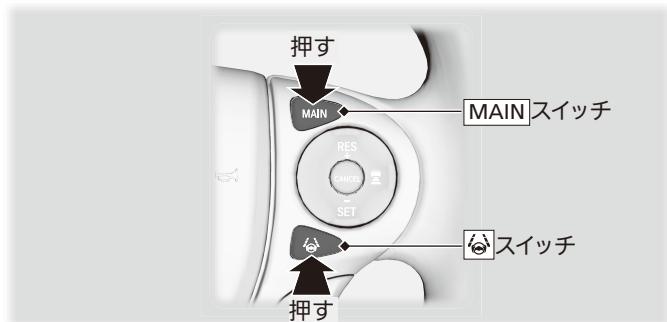
3 車線の中央付近を走行する

車線中央付近を走行中にカメラが両側の白線（黄線）を検知すると、LKAS が制御を開始します。



LKAS を解除するには

解除するには



以下のいずれかの操作をすると、LKAS が解除されます。

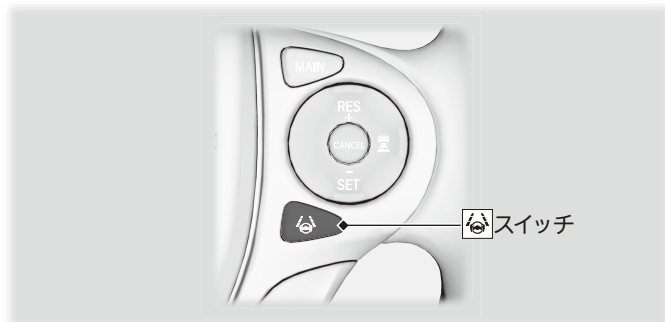
- **MAIN**スイッチを押す
- **LKAS**スイッチを押す

MAINスイッチを押すと、LKAS と同時に ACC も解除されます。

LKAS を使用しないときは

安全のため**MAIN**スイッチを OFF にしてください。
パワーモードをアクセサリモードまたは OFF モードにすると、**MAIN**スイッチは自動的に OFF になります。

LKAS を復帰させるには



LKASスイッチを押して LKAS を解除したあとも、65km/h 以上の車速で走行中に再度 **LKAS**スイッチを押したあと、カメラが両側の白線（黄線）をとらえると LKAS 制御走行に復帰します。

ただし、以下の場合には復帰できません。

- 車速が 65km/h 未満のとき
- **MAIN**スイッチを押して LKAS を OFF にしたとき

安全に関する表示

「運転者や他の人が傷害を受ける可能性のあること」を回避方法と共に、下記の表示で記載しています。これらは重要ですので、しっかりお読みください。



危険

指示にしたがわないと、死亡または重大な傷害に至るもの



警告

指示にしたがわないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの



注意

指示にしたがわないと、傷害を受ける可能性があるもの

その他の表示

下記の表示を使って記載しています。

アドバイス

お車が故障や破損することを防ぐためのアドバイスや、環境への配慮のために守っていただきたいこと。

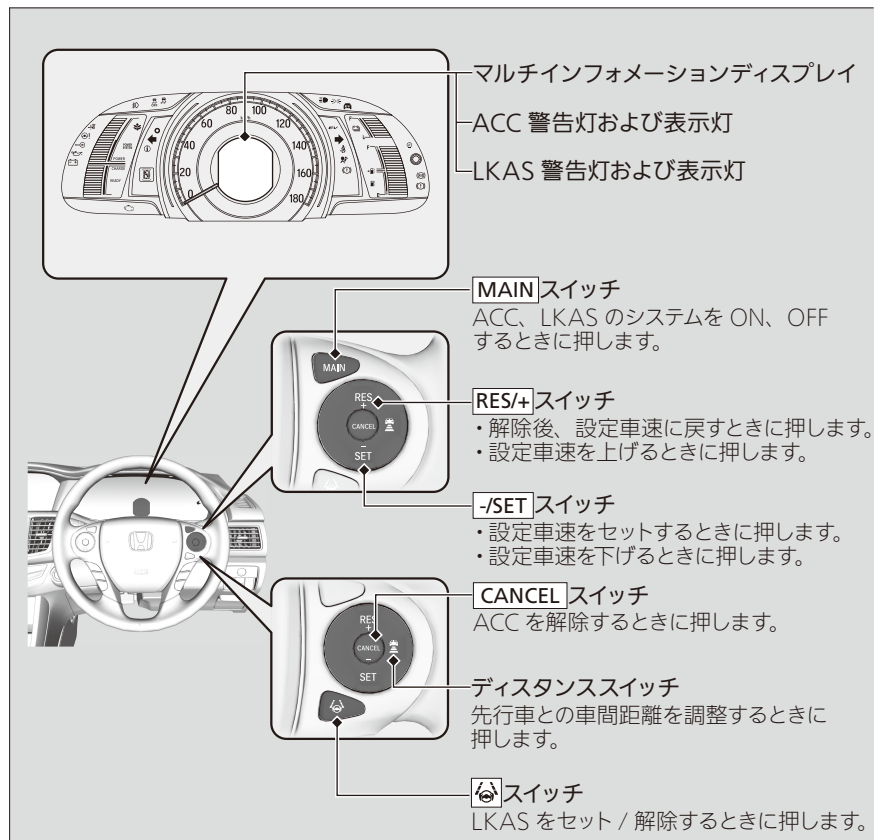
ACC/LKASについて

ACC/LKAS は、運転操作の負担を軽減するための運転支援システムであり、自動運転システムではありません。運転するときには常に周囲の状況に気をつけて、安全運転を心がけてください。

目次

ACC/LKASの操作	
名前とはたらき	12
警告が出たら	
走行にかかわる警告	15
システムに関する警告	16
先行車検知音の設定	17

名前とはたらき



ACC/LKAS の操作



警告

ACC/LKAS は補助システムとして使用する。
ACC/LKAS は、自動運転システムではありません。あくまでも運転者をアシストするためのシステムです。

機能には限界があるため、正しく使用しないと想定外事故につながり、死亡または重大な傷害にいたるおそれがあります。

作動条件のすべてを満たしていても、悪天候などで先行車との車間距離を測定できなかったり、カメラが検知できないようなときは、システムが作動しないことがあります。

パワーモードを ON モードにするときは、車を静止させてください。駐車場のターンテーブル上など、車両が動いているときにパワーモードを ON モードにすると、センサーの誤作動により走行中に先行車を正しく検知できないことがあります。

タイヤは、四輪とも同一指定サイズ、同一種類、同一銘柄および摩耗差のないタイヤをお使いください。

サイズ、種類、銘柄や摩耗度合いの異なるタイヤを使用すると、ACC/LKAS が正常に機能しなくなります。

ACCは、自動で停止するシステムではありません。減速制御を行う車速は35km/hまでです。また、減速能力には限界があります。

アクセルペダルを踏んでいるときは、車間距離制御は作動しません。また、接近警報は作動しません。上り坂や下り坂では、条件により一定車速を保てない場合があります。

■ マルチインフォメーションディスプレイの表示について

ACC/LKAS作動中に、マルチインフォメーションディスプレイを一時的に他の画面に切り換えることができます。ただし、設定車速を変更したとき、先行車や白線（黄線）の検知状態が変化したときなど、ACC/LKASの制御に変更があったときは、自動的にACC/LKAS画面に戻ります。

■ ACCの自動解除



次の場合は、マルチインフォメーションディスプレイに「ACC OFF」と表示され、「ピー」とブザーが鳴り、ACCが自動解除されます。

- 車速が35km/h未満になったとき
- 悪天候（雨、霧、雪など）のとき
- フロントグリルのエンブレムが汚れたとき
- 先行車を安定して検知できないとき
- タイヤが空転したとき
- タイヤの異常を検知したとき
- 山岳路や悪路を長時間走行したとき
- 急なハンドル操作をしたとき
- ABSまたはVSAが作動したとき
- VSA警告灯が点灯したとき

次ページに続く

■ ACC/LKASの操作



下記の状況のときは、ACC/LKASを使わない。

- 交通量の多い道路や頻繁に加減速を繰り返すような交通状況では、交通状況にあった速度で走行できません。
- 急カーブのある道では道路状況にあった速度で走行できません。
- 急な下り坂では、セットした車速を超えてしまう場合があります。
- 高速道路などで、料金所、インターチェンジ、サービスエリア、パーキングエリアに進入するときは、自車の前から先行車がいなくなることでセットした車速まで加速を始めてしまいます。また、道路状況にあった車線維持ができません。
- 悪天候（雨、霧、雪など）のときは先行車との車間距離を正確に測定できません。また、白線（黄線）を正確に検知できません。
- 凍結路や積雪路などの滑りやすい路面ではタイヤが空転して車のコントロールを失います。

■ LKAS の自動解除



次の場合は、マルチインフォメーションディスプレイに車線表示が点線で表示され、ブザーが鳴り、LKASが自動解除されます。

- 白線（黄線）を検知できないとき
- 車速が60km/h以下になったとき
- 急なハンドル操作をしたとき
- ハンドル操作をしていないとき
- 急なカーブを走行したとき
- 不適切な速度でカーブを走行したとき
- カメラ内部の温度が一定以上高温または低温になったとき

急なハンドル操作をしたときは、運転者のハンドル操作を優先させるため、LKASは解除されます。




自動解除の要因がなくなると、LKASが自動復帰します。

■ LKAS の自動解除

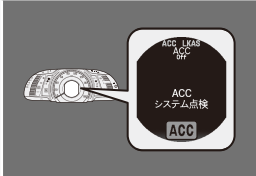




次のようなときは、白線（黄線）を正しく検出できず走行位置を正しく設定できない場合があります。

- 車線の数が増減している区間や車線が複雑に交差している区間を走行するとき
- 白線（黄線）がかすれや汚れで見えにくいとき
- 先行車が白線（黄線）の近くを走行して、白線（黄線）が見えにくいとき
- 天候（雨、霧、雪など）のより、白線（黄線）が見えにくいとき
- 車線規制や仮設車線がある区間を走行するとき
- 道路の補修跡や古い白線（黄線）が完全に消えていないとき
- トンネルの出入り口など、周辺の明るさが急に変わるとき
- ヘッドライトのレンズが汚れて照射が弱いつきや光軸がずれているとき
- フロントガラスが汚れているときや曇っているとき
- 逆光を浴びて路面が光っているとき
- 雨上がりなどで路面がぬれて光っているときや水たまりがあるとき
- ガードレールなどの影が、道路上に白線（黄線）と平行して写っているとき
- 車線の幅が狭いつきや広いつき
- 道路がうねっているとき
- 段差などにより車が大きくゆれたとき。

走行にかかわる警告

警告	画面表示	警告が出る状況	対処のしかた / 知識
接近警報		<ul style="list-style-type: none"> 先行車の減速や、他車の割り込みなどにより十分な減速ができない状態で先行車に接近しすぎると警報が点滅します。同時に「ピッピッピッ」とブザーが鳴ります。 	<ul style="list-style-type: none"> ブレーキなどで減速し、十分な車間距離を確保してください。車間距離を取ると、警報は消えます。アクセルペダルを踏んでいるときは、車間距離が短くても接近警報は作動しません。
車線逸脱警報		<ul style="list-style-type: none"> 車線を越えそうになると、警報が出ます。同時に「ピッピッピッ」とブザーが鳴ります。 	<ul style="list-style-type: none"> ハンドル操作をして、車線の中央を走行してください。しばらくすると、警報は消えます。
無操作警報		<ul style="list-style-type: none"> ハンドル操作をしないまま走行すると、警報が点滅します。同時に「ピッ」とブザーが鳴ります。 	<ul style="list-style-type: none"> ハンドル操作をすると、警報は消えます。

システムに関する警告

警告	画面表示	警告が出る状況	対処のしかた
ACCシステム 警報		<ul style="list-style-type: none"> ACCシステムに何らかの異常が発生すると警報が出ます。 ACC警告灯(オレンジ)も同時に点灯します。 	<ul style="list-style-type: none"> Honda販売店で点検を受けてください。 ACC警告灯(オレンジ)は、パワーモードをONモードにすると数秒点灯した後、消灯します。
LKASシステム 警報		<ul style="list-style-type: none"> LKASシステムに何らかの異常が発生すると警報が出ます。 LKAS警告灯(オレンジ)も同時に点灯します。 	<ul style="list-style-type: none"> Honda販売店で点検を受けてください。 LKAS警告灯(オレンジ)は、パワーモードをONモードにすると数秒点灯した後、消灯します。
レーダー センサー警報		<ul style="list-style-type: none"> エンブレムが汚れて、レーダーセンサーが前の車両を検知しにくい場合、警報がディスプレイ上に出ます。 雨、霧、雪などの悪天候のときにも、警報が出ることがあります。 	<ul style="list-style-type: none"> 汚れの場合は、安全な場所でエンブレムの汚れを拭き取ってください。 エンブレムの汚れを拭き取ったあとに、エンジンを再始動しなかったときでもシステムは復帰しますが、状況により復帰に時間がかかることがあります。
カメラ警報		<ul style="list-style-type: none"> カメラ内部の温度が一定以上高温になると、警報が出るとともにLKASが自動で解除されます。 	<ul style="list-style-type: none"> カメラ内部の温度が、一定温度内に戻ると復帰します。
LKAS 関連ユニット 警報		<ul style="list-style-type: none"> LKAS関連ユニットの故障で、LKASが作動しないときに警報が出ます。 	<ul style="list-style-type: none"> Honda販売店で点検を受けてください。

■ 先行車検知音を有り / 無しにする

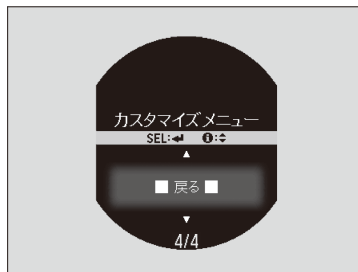
パワーモードがONモードでセレクトレバーが[P]のときに、マルチインフォメーションディスプレイを使って、先行車検知音の設定を変更することができます。



1. インフォメーション (**i**) スイッチ (▲ / ▼) を押し、「車両設定」が表示されたら、**SEL/RESET** を押す。
▶ 「カスタマイズグループ」画面に切り換わります。



2. 「運転支援システム設定」を選択し、決定する。
▶ 「カスタマイズメニュー」画面に切り換わります。



3. 「ACC 先行車検知音」を選択し、決定する。
▶ 「カスタマイズセットアップ」画面に切り換わります。

4. 「有り」または「無し」を選択し、決定する。
▶ 「有り（無し）に設定しました」と数秒間表示された後、「カスタマイズメニュー」画面に戻ります。

5. 通常画面に戻るまで、「戻る」を選択し、決定する。

☒ 先行車検知音の設定

カスタマイズ操作の途中で以下の操作を行うと、設定は変更されず元の設定のままとなります。

- パワーモードをアクセサリモードまたはOFFモードにする
- セレクトレバーを[P]以外にする

カスタマイズした設定を、工場出荷時の状態に戻すことができます。

☒ ACCORD HYBRID、ACCORD PLUG-IN HYBRID 取扱説明書

お車についてのお問い合わせ、ご相談は、まず、Honda 販売店にお気軽にご相談ください。
下記アドレスより最新の Honda 販売店を検索することが可能です。

Honda ホームページ <http://www.honda.co.jp/>

(Honda ホームページにある検索ボックスに『販売店』と入力してください)

携帯電話からは、携帯電話用 Honda ホームページをご覧ください。

<http://dream.honda.co.jp/dealerlocator/>

※：QR コード読み取り機能付きの携帯電話をお持ちの場合は、右の QR コードをご利用ください。
ご利用にあたっては、お持ちの携帯電話取扱説明書をご確認ください。
QR コードは (株) デンソーウェブの登録商標です。



お問い合わせ、ご相談は、全国共通のフリーダイヤルで下記のお客様相談センターでもお受け致します。

本田技研工業株式会社 お客様相談センター

フリーダイヤル 0120-112010

受付時間 9:00～12:00 13:00～17:00

〒351-0188 埼玉県和光市本町8-1

所在地、電話番号などが変更になることがありますのでご了承ください。

お車に関してお問い合わせいただく際は、お客様へ正確、迅速にご対応させていただくために、あらかじめ、お手元にお車の車検証をご準備いただき、下記の事項をご確認のうえ、ご相談ください。

- ① 車検証記載事項：車両型式、車台番号、原動機型式、登録番号、登録年月日
- ② 車種名、タイプ名、走行距離
- ③ ご購入年月日
- ④ 販売店名